

首里城扁額製作検討委員会

第 2 回 検討委員会

2021年12月 21日（火） 14:00-17:00

【資料 5】製作上の課題

5-1.製作体制の課題

5-2.製作工程の課題

5-1.製作体制の課題

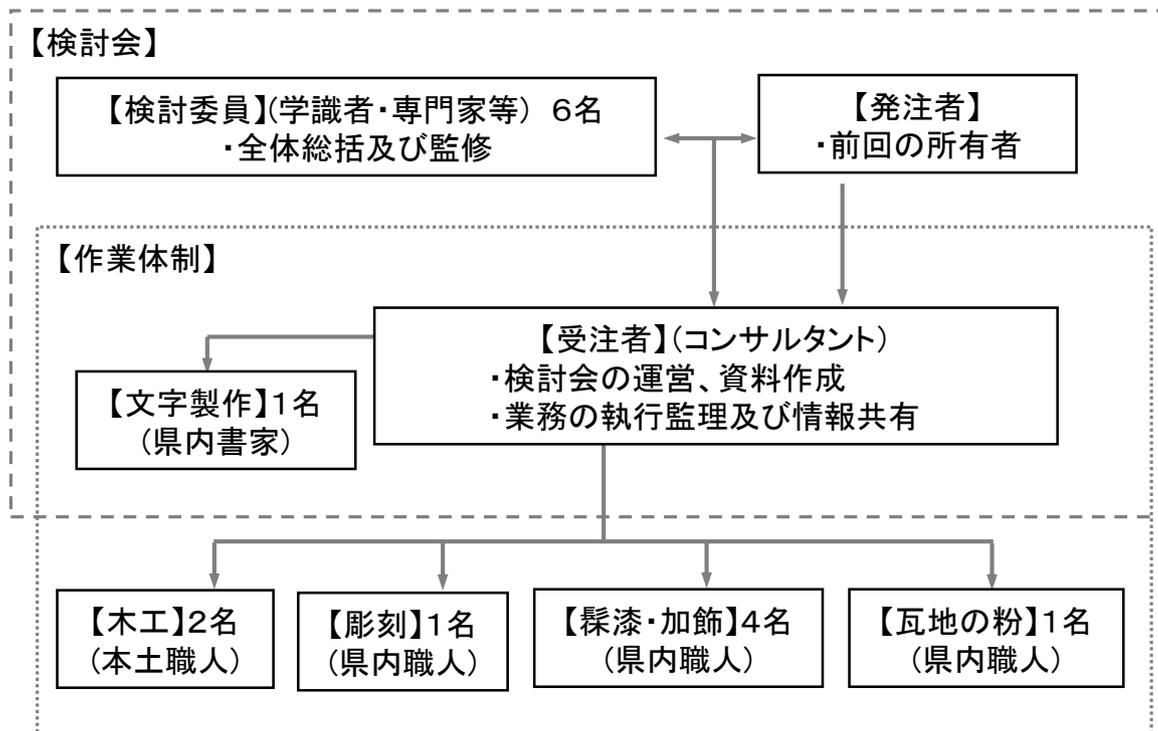
(1) 製作体制の主な課題

今回の首里城正殿扁額製作検討委員会の実施体制は、前回製作時の体制を参考に構築している。しかし今回、状況の変化によって新たな課題も生じており、その対応が必要となっている。

【主な課題】

- ・新たな知見の検討を踏まえ、作業の増加が見込まれる額縁木彫の製作者の確保。
- ・沖縄県内での人材育成・技術継承、扁額製作に必要な伝統技術の活用。

■前回の製作体制



■今回の主な課題

- (1) 前回製作時の発注者（事業主体）、検討委員、製作担当者との連携
- (2) 新たな知見を踏まえた製作者の確保
- (3) 沖縄県内での人材育成・技術継承

5-2.製作工程の課題

資料5

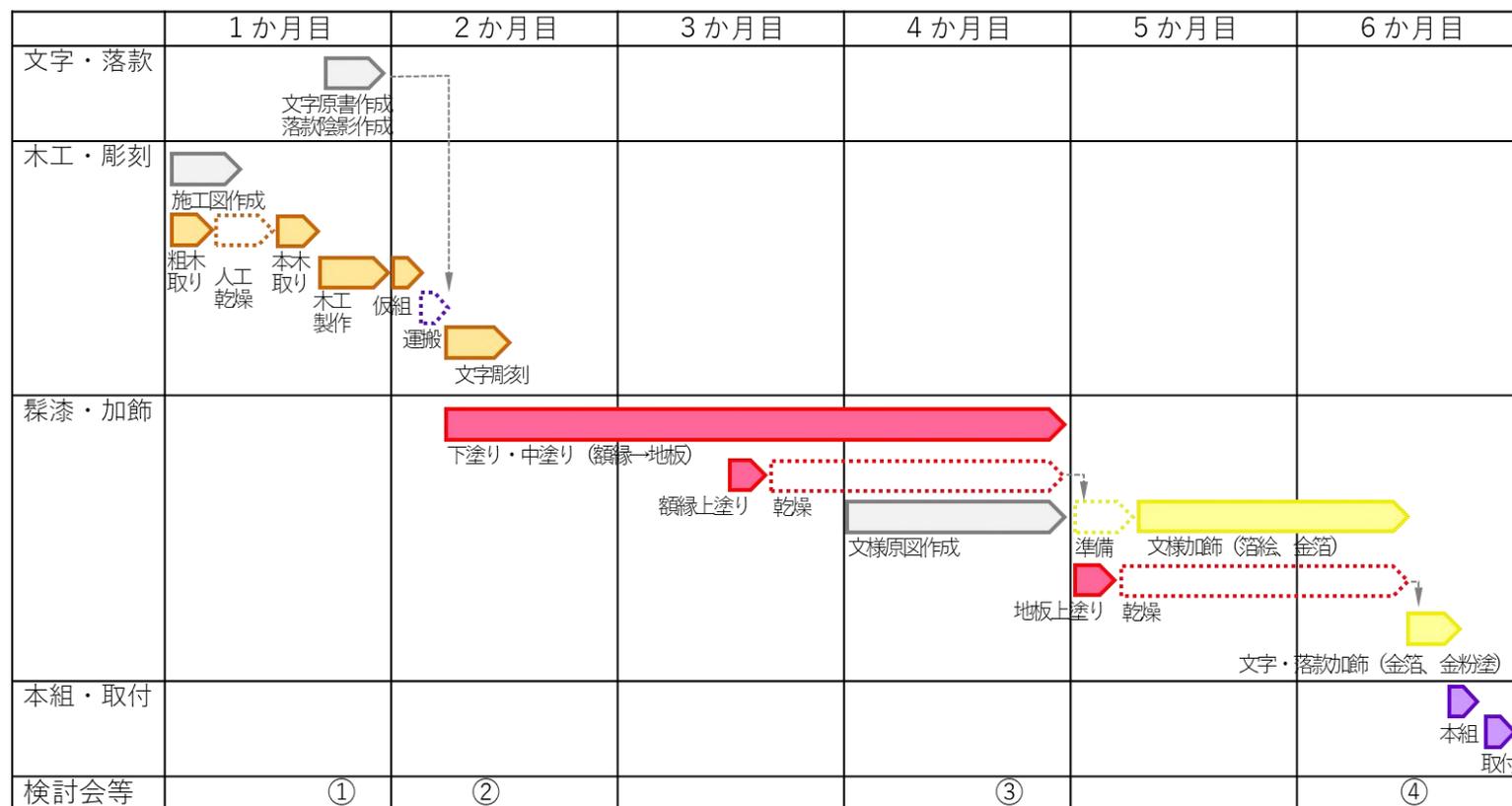
(2) 製作工程の主な課題

前回製作時は、日本本土で木工を行い、沖縄に搬送して彫刻、髹漆・加飾を行った。今回、状況の変化に応じた製作体制と木材の確保を行うにあたり、新たな課題が生じており、その対応が必要となっている。

【主な課題】

- ・製作体制同士の連携。
- ・新たに製作仕様に加わる額縁彫刻の工程期間の確保。
- ・木工・彫刻および髹漆・加飾の試作の実施。

■前回の製作工程



■今回の主な課題

- (1) 製作体制同士の連携。
- (2) 額縁彫刻の工程期間の確保。
- (3) 木工・彫刻、髹漆・加飾の試作。

参考：「中国皇帝御書扁額『中山世土』製作業務」（平成7年10月、財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団）
「首里城正殿扁額製作業務」（平成14年8月、財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団）を参考に作成